

レアスポ探検

長方形のコンクリート製コート
の先にある得点エリアに円盤を滑
らせ得点を競うシャフルボード。
一見単純に思えるが「ビリヤード
の技術とカーリングの作戦」が必
要だ。軽い運動量でも頭脳プレー

シャフルボード



の面白さがあり、年齢や性別に関
係なく楽しめる。

2人の対戦が基本。コートは幅

1.8×長さ12尺。スターティング
エリアに直径15センチのプラスチック
製の円盤を4枚ずつ並べ、長さ1.9
尺のキューで、向こう側にある得
点エリアを狙い円盤を押し出す。
細かいビーズをコート全面にまく
ので、円盤はよく滑る。交互にシ
ュートし、円盤が止まった得点エ
リアに記された点数を加算してい
く。先攻後攻を入れ替えて8～16
回の合計点で勝負を決める。

13世紀・英国の銀貨を使ったテ
ーブルゲームが始まりと言われ、
やがて野外スポーツとなり各地に
広まった。その後米国で道具やル
ールが整備され、現在は北米で盛
んに行われている。

シュートに力はいらない。その
代わりに、円盤をピタッと止めた
り、相手の円盤をはじき飛ばした
りする、ビリヤードのような正確
性が勝利の鍵を握る。また、得点

エリアにある円盤がはじかれな
いよう、相手のシュートコース
上に別の円盤を置くなど先を読
んだ戦術が必要だ。「4枚の円盤
をどう使うか、相手の手を読んで
進めるのがだいご味」とはシャ
フルボード歴20年の箭野美智子さ
ん(76)。

国内有数の専用コート数を持つ
横浜シャフルボード協会では、52
～91歳までの82人が、週4回集ま

る。1ゲームは約1時間で、運動
量としてはウォーキングよりも軽
い程度。会長の薩川俊三さん(75)
は、シャフルボードを広めようと
今年2月にNPO法人を立ち上げた。
「体を動かし、頭も使う。シル
バースポーツに最適です」

問い合わせは横浜シャフルボー
ド協会 薩川さん(☎045・472・80
98、<http://ysa3.value-net.net>)。

2007年(平成19年)
10月18日
木曜日

夕刊

be evening
木曜スタイル
5～12面

